

安全データシート (SDS)

1. 製品および会社情報

製品名 エタノール浸漬銀サブミクロン粒子

会社名 株式会社希少金属材料研究所

住所 岡山県玉野市宇野 8-30-12

電話・ファクス番号 0863-33-3388

緊急連絡電話番号 同上

2. 有害性情報

GHS 分類

銀サブミクロン粒子: 分類できない

溶媒(混合有機化合物)

物理化学的危険性 引火性液体 区分2
自然発火性液体 区分外

健康有害性 急性毒性(経口) 区分外
急性毒性(経皮) 区分外
急性毒性(吸入:蒸気) 区分外
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分外
眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性 区分2A
生殖毒性 区分1A
特定標的臓器毒性(単回暴露) 区分3(麻酔作用 気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復暴露) 区分1(肝臓)
特定標的臓器毒性(反復暴露) 区分2(中枢神経系)
吸引性呼吸器有害性 区分2

環境有害性

水生環境有害性(急性) 区分外
水生環境有害性(長期間) 区分外

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語:

危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気
眼刺激
発がんのおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
長期間にわたる、又は反復暴露による臓器の障害

注意書き

安全対策

熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地しアースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
取り扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
保護手袋及び保護面を着用すること。
指定された個人用保護具を使用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保管

容器を密閉して涼く換気の良いところで施錠保管すること。

応急処置	<p>火災の場合：指定された消火剤を使用すること。 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。</p> <p>吸入した場合は空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。</p>
------	--

3. 組成成分情報

銀、混合有機化合物（内 アルコール類、イソプロピルアルコール 含有）

4. 応急処置

目に入った場合	数分間多量の清浄な水で十分に洗い流す。医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	石鹸で洗い流す。汚れ落ちが悪い場合は、クレンジングクリームを塗り、柔らかい布で拭き取る。必要に応じて医師の診断を受ける。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努める。医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	素早く指などを用いて吐き出させる。必要に応じて医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧、泡消火薬剤、粉末消火薬剤、二酸化炭素を使用する。
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の消化方法	適切な消火剤等を使用して消火する。消火活動は、可能な限り風上から行う。消火剤等により環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周囲を水噴霧で冷却する。
消火を行う者の保護	消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	皮膚への付着、吸引等を防止する保護具を着用する。
環境に対する注意事項	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出されないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材	床面などにこぼれた場合は掃き集めたりせずに、HEPAフィルター付掃除機で吸い取るなど、出来るだけ粉塵が飛散しない方法で空容器に回収する。

7. 取扱及び保管上の注意

取り扱い	適切な保護具を着用し、できるだけ皮膚に触れないようにする。蒸気の発散は極力抑え、作業環境を許容濃度以下に抑えるように努める。作業中は飲食、喫煙をせず、取り扱いはうがい、手洗いを十分に行う。関係者以外の立ち入りを禁ずる。
保管	直射日光を避け、換気の良いなるべく涼しい場所に密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	設定なし								
許容濃度	設定なし								
技術的対策	蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、目の洗浄および身体洗浄のための設備を設置し、その場所を表示する。								
保護具	<table border="0"> <tr> <td>呼吸器の保護具</td> <td>防塵マスク、呼吸用保護具</td> </tr> <tr> <td>手の保護具</td> <td>保護手袋</td> </tr> <tr> <td>目の保護具</td> <td>安全ゴーグル</td> </tr> <tr> <td>皮膚および身体の保護具</td> <td>保護衣、顔面シールド</td> </tr> </table>	呼吸器の保護具	防塵マスク、呼吸用保護具	手の保護具	保護手袋	目の保護具	安全ゴーグル	皮膚および身体の保護具	保護衣、顔面シールド
呼吸器の保護具	防塵マスク、呼吸用保護具								
手の保護具	保護手袋								
目の保護具	安全ゴーグル								
皮膚および身体の保護具	保護衣、顔面シールド								

9. 物理的及び化学的性質

銀サブミクロン粒子(エタノール浸漬)	
色	灰色
臭い	エタノール臭
pH	データなし
沸点	78°C
引火点	13°C

10. 安定性及び反応性

安定性	通常条件で安定である。
危険有害反応性	強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
避けるべき条件	高温での保存、取り扱い
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

急性毒性	区分外
皮膚腐食性・刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷／刺激性	区分2B
変異原性	区分外
発がん性	区分外
生殖毒性	区分1A
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分3(麻酔作用 気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分1(肝臓)
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分2(中枢神経系)
吸引性呼吸器有害性	区分2

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	区分外
水生環境慢性有害性	区分外
生態蓄積性	データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法	都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に、内容を明示して処理を委託する。
------	---

14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報 :IMOの規定に従う。 UN No. :1263 Class : 3 Packing Group : II 航空規制情報 :ICAOの規定に従う。 UN No. :1263 Class : 3 Packing Group : II
国内規制	陸上規制情報 :消防法の規定に従う。毒劇法の規定に従う。 海上規制情報 :船舶安全法の規制に従う。 国連番号 : 1263 クラス : 3 等級 : II 航空規制情報 :航空法の規定に従う。 国連番号 : 1263 クラス : 3 等級 : II

15. 適用法令

労働安全衛生法	粉じん障害防止規則 危険物 引火性のもの(4-3)
消防法	危険物 第四類 アルコール類 危険等級II
船舶安全法	中引火性液体類
じん肺法	粉じん作業

16. その他情報

引用文献	国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版 化学工業日報社(1992) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH(1985-86) 日本化学物質安全・情報センター(1989) 厚生労働省 職場の安全サイト 化学品別適用法規総覧 化学工業日報社 化学品法令集 化学工業日報社 安全衛生法便覧 労働基準調査会 モデルMSDS情報 安全衛生情報センター 溶剤ポケットブック メルクインデックス 溶剤ハンドブック
------	---